

三輪自転車を 安全に乗るために



PASワゴンは自転車にお乗りになれる方が使えるようにつくられた三輪自転車ですが、通常の自転車と機能や構造が違うため、乗車感覚も異なります。乗り方によっては転倒のおそれもありますので、以下の点を特に注意してください。

片側に傾斜している道路では、
ハンドルをとられないようにする



安定が悪く転倒によるけがのおそれがあります。

子供乗せ機（同乗機）は使用しない



安定が悪くなり転倒によるけがのおそれがあります。

●市販品の子供乗せをハンドルに取り付けることはできません。

下り坂やカーブではブレーキを
早めにかけて、充分スピードを落とす



転倒や落車などによるけがのおそれがあります。

●ブレーキは必ず前後同時にかけてください。

リヤバスケットに
幼児や子供を乗せない



安定が悪くなり、転倒によるけがのおそれがあります。

ジグザグ運転や急旋回をしない



後輪が浮き上がり、転倒によるけがのおそれがあります。

走行中にパーキングブレーキを
かけない



前輪がロックし、転倒によるけがのおそれがあります。

車体幅が広いので押して歩くときは十分に注意する。

後ドロヨケやペダルなどが足に当たって、けがのおそれがあります。



カーブは大きめに回る



脱輪や後輪をぶつけ、転倒によるけがのおそれがあります。

せまい場所への乗り入れに注意する



脱輪や後輪をぶつけ、転倒によるけがのおそれがあります。

スイング固定部品を取り付けた場合

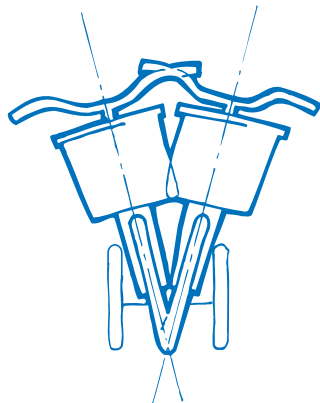
PASワゴンは、操縦性をよくするために車体（前半分）を傾けられる構造（下図・左）になっていますが、バランスをとりにくい方のために、スイングを固定する部品が用意されています。この部品を取り付けた状態（下図・右）では、操縦性がスイング式とは異なりますので、乗り方を充分練習してから、人が歩くぐらいの速さ（5 km/h 以下）で走行してください。

特に、曲がり角や、石、段差があるところを走行する場合や、坂道でターンをする場合は、転倒することがありますので、スピードの出しすぎに注意してください。

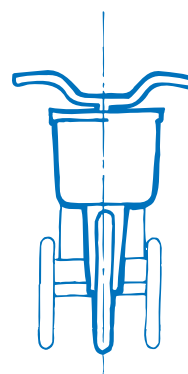
注) スイング固定部品がなくても乗れるようになったら取り外してください。



標準の状態（スイング式）



スイング固定部品を取り付けた状態



傾斜や凹凸のある路面での三輪車の特性

三輪車は、次の例に示すように、普通自転車と異なり、特に路面の傾斜や凹凸の影響を受けますので、充分注意して運転してください。

1. 普通自転車（二輪車）

- 路面が傾斜していても、車体は傾かず、ほぼまっすぐ乗車できます。



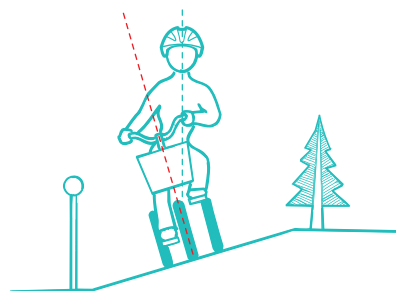
2. 三輪車（スイング固定部品を取り付けないとき）

- 路面の傾斜により後車体は傾きますが、スイング機構があるので、乗員がバランスをとることにより、前車体は二輪車に近い状態で乗車できます。



3. 三輪車（スイング固定部品を取り付けたとき）

- 前後車体がスイング固定部品で固定されているため、スイング機構は働かず、路面傾斜角度と同じ角度に車体全体が傾きます。
- 乗員が傾斜と逆方向に体を傾けて、バランスを取る必要があります。
- 路面の傾斜の方向にハンドルを取られる傾向があります。



警告

- 三輪車は路面の傾斜や凹凸の影響を受けやすく、車体が傾いたりハンドルを取られやすくなり、普通自転車に比べて運転しにくくなります。
- 路面の傾斜や凹凸が大きい場合は転倒する危険がありますので、三輪車から降りて歩いてください。
- 特にスイング固定部品を取り付けた時はこの傾向が著しくなります。
- 乗りなれたら、スイング固定部品はなるべく早く外してください。